

巻頭言

『自由学園年報』第18号（2014）が刊行され、2013年度中の学内の活動について皆様にご覧いただき、自由学園の教育の一端を活字で知っていただけることをありがたく思います。

2013年度は、近年4年に一度開催している美術工芸展や校外での音楽会のない年で、各部で勉強報告会（初等部）、学業報告会（女子部・男子部）、卒業勉強・研究報告会（最高学部）を通して、日ごろの教科教育のまとめをすることができました。それは、単なる一教科のまとめではなく、教科横断的な学びであり、生徒・学生たちの自主的な学びであり、また共同して学ぶことや発表力を育てる総合的な学びのまとめでもあります。この『年報』に各部の教師や学生から寄せられている報告からそれをお読み取りいただけると幸いです。

最高学部では、以前発行されていた『彙報』（「紀要」に相当するもの）に代わるものとして、あらたに内外に公開できる電子媒体を用いた形での研究記録誌刊行を計画しています。この『年報』はそれとは別に、今までの役割を果たし続けることとなりますが、単なる記録・報告に留まるのではなく、多くの教師の授業研究や研鑽が活字になって、多くの方々に読んでいただけることを願っています。

諸事情のためにこの『年報』の発行が遅くなってしまったことをお詫びすると共に、原稿を寄稿された先生方や学生たちに、そしてさまざまな編集の苦勞を担われた編集委員の先生方に心からの感謝を捧げます。

この『年報』が自由学園の教育の記録として、多くの方々にお読みいただき、自由学園の教育への理解を深めていただく助けとなれば幸いです。

2015年1月

学園長 矢野恭弘